

プレファーマシー実習

病態生理学研究室

内容

実習	後期プレファーマシー全体実習講義
実習	ケーススタディー
実習	ピークフロー測定と吸入薬
実習	PT-INRとワルファリンカリウム
実習	インスリン自己注射
実習	自己血糖測定
実習	初回面談演習
実習	服薬指導演習
実習	教員による初回面談及び服薬指導演習 (1対1での確認テスト)
実習	ケーススタディー発表会
実習	後期プレファーマシー実習全体まとめ

実習スケジュール

	1班	2班	3班
第1日目	実習講義(後期プレファーマシー実習全体)		
第2日目	ケーススタディー	PT-INR	インスリン自己注射
	ケーススタディー	インスリン自己注射	PT-INR
	PT-INR	自己血糖測定	ケーススタディー
第3日目	ピークフロー測定	ケーススタディー	自己血糖測定
	自己血糖測定	ケーススタディー	ピークフロー測定
	インスリン自己注射	ピークフロー測定	ケーススタディー
第4日目	初回面談演習		
第5日目	服薬指導演習		
第6日目	教員による初回面談演習及び服薬指導演習(1対1の確認テスト)		
第7日目	ケーススタディー発表会		
第8日目	まとめ(後期プレファーマシー実習全体)		

ケーススタディー

- ・ 代表的疾患(9疾患)の症例を作成し、患者背景、検査所見、治療方法、処方薬などを総合的に学ぶ。
心不全・高血圧症をもつ喘息患者・気管支喘息・糖尿病・SLE・パーキンソン病・肝硬変・大腸癌・脂質異常症と虚血性心疾患
- ・ 1つのCaseにつき6～7名の学生を配置。
- ・ それぞれ担当するCaseを元に初回面談及び服薬指導演習を行う。
- ・ 服薬指導後はSOAP形式で記録を行う。
- ・ 最終日に発表会を行う。

ケーススタディーの実例(パーキンソン病)

[77歳、男性、無職]

[現病歴]

1～2年前より安静時に右手振戦が出現。しかし、動作をする際には振戦の軽減が見られたため、気に留めることもなく様子を見ていた。数カ月前より、動作が遅くなる、歩行時の歩幅が小さくなるなどの症状が出現し、振戦の増強も見られたため受診。検査目的で入院となり、パーキンソン病の診断(ヤール分類:第 期)を受け薬物治療を開始する。

[家族歴] 父:死亡(胃癌) 母:死亡(脳梗塞) 妻:死亡(大腸癌)

[嗜好歴] 飲酒:飲まない 煙草:1日30本×30年間

[身体所見] 身長160cm、体重50kg、仰臥位血圧140/85mmHg、座位血圧110/60mmHg、脈拍70回/分、意識清明、認知障害なし、筋固縮あり、上下肢に安静時振戦(右>左)

[検査所見] [尿検査]異常なし [便検査]異常なし [血液検査]異常なし [画像検査]頭部CT及びMRIで病的所見なし

[アレルギー歴、副作用歴]なし

[OTC・健康食品の常用]なし

[持参薬・現在使用中の薬]なし

[他科受診]なし

[患者の考え・希望]環境が変わると不眠になる傾向がある。

[処方内容]

- | | |
|-----------------------------------|----------------|
| 1) ネオドパストン錠(レボドパ・カルbidopa合剤)100mg | 3錠 1日3回 毎食後 |
| 2) ドブスカプセル(ドロキシドパ)100mg | 3カプセル 1日3回 毎食後 |
| 3) アーテン錠(トリヘキシフェンジル)2mg | 0.5錠 1日1回 朝食後 |
| 4) ナウゼリン錠(ドンペリドン)10mg | 3錠 1日3回 毎食直前 |
| 5) アモバン錠(ゾピクロン)7.5mg | 1回1錠 不眠時 |
| 6) 酸化マグネシウム | 3g 1日3回 毎食後 |

[課題]

・抗パーキンソン病薬について作用機序別に分類せよ。

・パーキンソン患者に見られる症状について記せ。

・パーキンソン病治療において、認知障害や高齢の患者に使用することが望ましい薬剤を調べよ。

・レボドパ製剤の長期投与に伴う日内変動(wearing offなど)、on-off現象について対策も含めて考察せよ。

初回面談及び服薬指導演習

- ・ 与えられたCaseに基づき、初回面談及び服薬指導演習を行う。
- ・ 学生同士でのロールプレイを行う。
- ・ Caseごとに代表者1～2名が教員(患者)とロールプレイを行う。

教員による1対1確認テスト

- ・ Caseとは別にOSCE対策として課題を設定し、初回面談及び服薬指導の確認テストを行う。
- ・ 教員(患者役)ー 学生(薬剤師役)
- ・ OSCEに準じて課題を読む時間、課題実施時間、フィードバックの時間を設定して行う。

実技(技能)

- ・ ピークフロー値の測定、代表的な吸入薬の使用方法
- ・ インスリン自己注射(デモ注射器を用いる)
- ・ 自己血糖測定器の使用方法
- ・ PT - INR値とワルファリンカリウムとの関係